

カヌー一部「総体 悔いなく挑む」

南富良野高生らが抱負



鈴木教育長（右奥）にインターハイでの抱負を発表する選手ら

©北海道新聞社

【南富良野】8月1日から島根県美郷町で開かれる全国高校総合体育大会（インターハイ）カヌー競技に出場する南富良野高カヌー部の選手が町役場を訪れ、鈴木誠教育長に全国の舞台への意気

込みを語った。

出場メンバーは3年の神崎百花さん、2年の益田洲さん、鐘ヶ江湊さん、佐藤和音さん、加藤瑞生さん、細井湧斗さん、村田希野さん、佐藤茉莉さん、大谷篤史さん、1年の草野敦さん、新田大志さん、佐藤美七海さんと、補欠の1年桜井潤さんの計13人。カヤック500級の1人乗り、2人乗り、4人乗りの男女各種目に出場する。

18日に町役場を訪問した選手たちは、一人ずつ意気込みを発表。神崎さんは「高校生活最後のインターハイ。メンバーと協力して、悔いのないレースにしたい」、草野さんは「初めてのインターハイ。適度な緊張を持って、全力を出せるように頑張りたい」と力強く抱負を述べた。

鈴木教育長は「『北海道代表』を背負っている。得意なことや苦手なことを補い合い、練習の成果を出し切って」と激励した。

（川上舞）